

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 新居浜市立垣生小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒792-0872

愛媛県新居浜市垣生1丁目5番38号

E-mail nhae-ad@esnet.ed.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 134名 女子 134名 合計 264名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「社会」「自然」「歴史・文化」とのふれ合いを通して「を活動テーマとして、ESDを「地域」を基盤として人とつながり、「自然」「環境」「歴史・文化」などとの関わりを深める場と捉え、ESDの実践を通して互いに助け合い、命あるものを大切にする心、郷土に誇りをもち伝統や文化を受け継いでいこうとする態度、地球環境保全にむけて行動してくことのできる実践力の育成を目標とした。

具体的には、環境教育・防災教育・地域の歴史・文化を柱に、①地球環境保全に係わる活動、②地域の文化遺産に係わる教育を行った。

① 地域環境保全に係わる活動

毎月、第1、第3木曜日をリサイクル回収日に設定し、牛乳パック、アルミ缶、トレイの回収を行った。牛乳パックは、校内に設置された回収ボックスに入れる。アルミ缶は、環境委員会の児童により、校内1か所に回収場所を設け、回収する。トレイは、各学級で回収し、各クラスで設置された係や

当番によって、枚数・人数も数え、その日の昼休みに環境委員会の児童により回収・集計を行っている。給食の時間に、回収した成果を発表し、各クラスの児童への意欲付けを行った。また、毎日の給食で飲んだ牛乳パックを、各クラスで処理し、環境委員会の児童で定期的に回収を行った。

② 地域の文化遺産に係わる学習

「じょうさ節」は、垣生に伝わる文化遺産であり、若い方からお年寄りまで皆さんに親しまれ歌われ踊られてきた民謡である。運動会においても全校児童と地域の方たちで踊っている。

また、「垣生山」も垣生の方々の憩いの場として大切に守られてきている。3年生がチューリップを植えるなど、たくさんの方々が大切にしている垣生山を守っていこうとする心を育てている。



① の写真 (キャプション)



② の写真 (キャプション)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

・ えひめ A I - 2 のつくり方と使い方

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

生活科や総合的な学習の時間等を利用して、各学年で年間指導計画に位置付け、各活動を実施している。また、本年度、本校はコミュニティ・スクールに認定され、毎月の学校運営協議会において、地域・PTAとの調整をし、その協議会での報告をもとに、各学年で具体的な活動の準備・調整を行った。連絡・調整を一元化したことにより、どの活動もスムーズに行うことができ、児童だけでなく教師も混乱することなくとり行うことができた。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校運営協議会で、学校・地域・PTAの三者が一堂に集まり、月1回連絡・協議を行っている。また、校内では、年度当初にESDの年間カレンダーを作成し、ESD主任が取りまとめ、ESD計画書を作成し、計画的に実践できるようにしている。また、年度末には、各学年から実践報告をしてもらい、ESD報告書をまとめ次年度の活動に生かすようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

校内では、週案等を活用し先生からの各活動の評価をしてもらうようにしている。また、年度末の実践報告により、成果と課題をまとめ、次年度に生かすように報告書にまとめている。

地域・PTAからは、年度末の学校評価や学校運営協議会での話合いで意見をいただき、それを学校の運営委員会等に持ちよっている。

連絡・調整が一元化され、日程等の混乱がなく活動でき内容も精選された。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学校公式ホームページの各学年の活動紹介や学年・学校便りで、活動の発信を行ってきた。また、保護者にも参加や参観を呼びかけ、活動の周知を行ってきた。また、公民館にも学校便りを配布し、地域にも本校の活動を紹介することにより、地域の方々の協力者が少しずつ増えてきた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

まだ、特に協働や交流をしている団体はない。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

まだ、交流しているところはない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

地域や保護者の方々がとても協力的になってきて、学校の活動により多くより深くかかわりたいという方が増えてきている。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

自然界に優しい「えひめA I - 2（※環境浄化微生物）」を活用した堆肥作りや野菜作り、プールやトイレの浄化など、食農活動や、環境教育に取り組んでいきたい。

また、エコ活動では、年間を通して全校でリサイクル運動を推進している。家庭や地域に呼びかけて、牛乳パックやアルミ缶、新聞、雑誌などを資源回収していきたい。

さらに、本校は、地域の合同自主防災訓練（※地域住民、地域の消防団、消防署が一緒に行う自主的な防災訓練）にも全校で参加し、地域の様々な人との関わりの中で、体験型防災スキルを学んでいきたい。

また、垣生地域には、200年ほど前から歌われ出したと言われる郷土の文化遺産「じょうさ節（※民謡）」や、ずっと語り継がれてきた民話がある。本年は、これらの活動をボランティア活動と関連させ、より多くの地域の人とふれあうことができるように計画している。

===== ※以下非公表 =====